

# 化学

## Chemistry

教授	高橋 康丈	Yasutake Takahashi
准教授	杉森 保	Tamotsu Sugimori
助教	角田 広子	Hiroko Kakuda

### ◆ 研究概要

高橋康丈：有機および生物有機光化学反応の中間体に関する研究。

杉森 保：フェニル誘導体の導入を基盤とする新規機能性フタロシアニン錯体の合成とその応用。

角田広子：超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応の開発とその応用。

### ◆ 原 著

- 1) Kasuga, K., Imai, M., Irie, H., Tanaka, H., Ikeue, T., Handa, M., Wada, S., and Sugimori, T.: Immobilization of cationic zinc(II) complexes of phthalocyanine and unsymmetrical porphyrazine in mesoporous MCM-41 silica and photo-catalytic activity of the composites, *J. Porphyrins Phthalocyanines*, 10: 1212-1218, 2006.
- 2) Handa, M., Murakoshi, K., Nishikawa, A., Yahata, K., Shiomi, K., Hiromitsu, I., Sugimori, T., Sogabe, K., Isa, K., Nakata, M. and Kasuga, K.: Dinuclear and Tetranuclear Copper(II) Complexes with a Ligand Bearing Phthalocyanine and Schiff-Base Coordination Sites, *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, 80: 1949-1954, 2007.
- 3) Takahashi, Y., Sakakibara, T., Tominaga, T., Inaba, M., and Tomioka H.: New facets in the photochemistry and thermal reaction of 2,2-diphenylmethylenecyclopropane, *J. Photochem. Photobiol. A: Chem.*, 185, 253-262, 2007.

### ◆ 学会報告

- 1) 杉森保, 森川寛敏, 高橋康丈, 角田広子, 池上崇久, 半田真, 春日邦宣: 酸化還元活性な置換基を導入したフタロシアニン誘導体の合成. 日本化学会第 87 回春季年会, 2007, 3, 吹田市 (#1PB133).
- 2) 杉森保, 高橋康丈, 半田真, 池上崇久, 春日邦宣: 酸化還元活性な置換基を有するフタロシアニン誘導体の合成. 第 57 回錯体化学討論会, 2007, 9, 名古屋市 (#1PA024).
- 3) 角田広子, 高橋康丈, 桐原正之: 超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応と生理活性物質の合成研究. 日本薬学会第 127 年会, 2007, 3, 富山市 (30P1-pm277).
- 4) 池田 明代, 山田 将文, 高橋 康丈, 池田 浩, 水野 一彦, 手老 省三: 光誘起電子移動反応によるテトラメチレンエタン型中間体の発生; 分光学的解析と D F T 評価. 日本化学会第 87 回春季年会, 2007, 3, 吹田市 (#1D6-43).
- 5) 池田浩, 池田明代, 松井康哲, 高橋康丈, 鎌田正喜, 手老省三, 山内清語, 水野一彦: 1,2-ビス( $\alpha$ -スチリル)ベンゼンの光誘起電子移動反応: オルトキノジメタン型中間体の観測と速度論的解析. 化学プラットフォーム@関西. 2007, 9, 姫路市 (021).
- 6) 池田明代, 池田 浩, 山田将文, 高橋康丈, 手老省三, 山内清語, 水野一彦: 光誘起電子移動反応で発生するオルトキノジメタン及びテトラメチレンエタン型中間体の分光学的観測と速度論的解析. 2007 年光化学討論会. 2007, 9, 松本市 (1P35).
- 7) 池田 明代, 池田 浩, 山田 将文, 高橋 康丈, 手老 省三, 山内 清語, 水野 一彦: 3,4-ビス( $\alpha$ -スチリル)フランの光誘起電子移動反応によるフラン縮環テトラメチレンエタン型中間体の観測. 第 57 回有機反応化学討論会 2007, 9, 東広島市 (P-19).